

令和5年度新川地区中学校新人大会（柔道競技） 実施要項

1 日時 令和5年9月16日（土） 滑川市総合体育センター 武道場
7:30 開場 7:45 会場設営 8:00 計量開始 8:50 審判・監督会議 9:20 開会式

2 競技方法

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定(2022年4月1日より施行)及び国内における「少年大会特別規程」による。
- (2) 優劣勝ちの判定基準は次のとおりとする。
 - ① 団体戦の個々の試合には、「僅差」を取り入れ、その内容に満たない場合は「引き分け」とする。「僅差勝ち」とは、「指導」差が2以上あった場合に、「指導」の少ない選手を優劣勝ちとする際の名称とする。優劣の成り立ちは以下の通りとする。
「一本」＝「反則勝ち」>「技有」>「僅差」
内容が同等の場合は任意の選手による代表戦を行う。代表戦で得点差が無い場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。勝敗の基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差がない場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は個人戦と同様にする。延長戦は時間無制限とする。
 - ② 個人戦における勝敗の判定基準は、「一本」「技有」「僅差」及び「反則負け」とする。得点差が無い場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。ゴールデンスコアは時間無制限とする。ゴールデンスコア中は、スコアが与えられた時点か直接の「反則負け」及び新たに指導差がついた場合に勝敗が決する。
- (3) 団体戦における勝者点数配分は以下の通りとする。
一本＝100点、技有＝10点、僅差＝1点
- (4) 試合時間は、団体戦・個人戦とも3分間とする。延長戦（ゴールデンスコア）は時間無制限とする。
- (5) 柔道衣は白色とする。
- (6) （公財）講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。ただし、男女とも全柔連で認証された黒帯を使用する。白帯についても認証された帯とする。
- (7) 団体戦
 - ・男子一体重の最も重い者を大将とし、以下順次体重順に5名編成とする。
 - ・女子一体重の最も重い者を大将とし、以下順次体重順に3名編成とする。
 - ・補欠は男子2名、女子1名とし、一度抜けた選手は出場できない。
- (8) 個人戦
 - ・男子 50kg級 55kg級 60kg級 66kg級 73kg級 81kg級 90kg級 90kg超級
 - ・女子 40kg級 44kg級 48kg級 52kg級 57kg級 63kg級 70kg級 70kg超級
 - ・地区選手権大会の入賞者等をシードする。

◎原則として各学校、各階級2名まで出場できるものとする。

※1 今年度の県選手権大会（個人戦）に出場した者は自動的に出場できる。（2名の中に数えない。）
その際、階級が変わってもよいものとする。

※2 部内に郡市大会等で優秀な成績（1～2位）を残している生徒がおり、その者と同じ程度の実力を有していると判断した生徒を出場させることができる。

3 申込み期日 令和5年8月18（金）必着

〒938-0027 黒部市中新30 黒部市立清明中学校 川口 将 宛

4 けが等の処置について

応急処置について本部では、救急箱を用意しますが、原則として各校で対応をお願いいたします。

医療機関：厚生連滑川病院 TEL076-475-1000 救急搬送：滑川市消防署 TEL076475-0180

5 その他

- (1) 計量については体重計の誤差を考慮します。減量には十分配慮する。
- (2) 柔道衣の規格を守り、ゼッケンも必ず装着する（対角線も縫付）。胸の刺繍がある場合、ゼッケンと一致していること。
※ 本大会は、県選手権大会同様、認証柔道衣（赤色マーキングのもの）が必要となる。帯についても認証された帯とする。
- (3) 女子のインナーについては、色は白又は白色に近い色の半袖で、丸首無地のTシャツ又は半袖のレオタードとする。製造者マークは最大20cm²のサイズであれば認める。ただし、柔道着を着用したときに製造者マークが見えてはならない。所属名称または所属を表すエンブレムは左胸に固定した状態で最大100cm²までのものは認める。
- (4) 貴重品の管理は各校で行う。
- (5) 県選抜大会へは、男子団体4校、女子団体2校、男女個人各階級4名が出場できる。詳細は大会運営会議で郡市主任に連絡する。
※ 大会前の怪我による棄権の場合、大会当日の計量と柔道着検査を合格すれば大会に出場したものとみなすことができる。
- (6) 新型コロナウイルス感染症への対策を徹底して開催する。（詳細は運営委員会で検討する。）
- (7) 選手および監督は下記事項を遵守する。
 - ① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。
 - ③ 中学入学後に柔道を始めた1年生は試合に出場させないこと。スポーツ少年団等で経験がある1年生は、体力、技能、試合経験、実績等を見極めて慎重に判断すること。

【運営委員会（郡市主任参加） 8月25日（金）14:00～ 清明中学校】